

群馬県立伊勢崎興陽高等学校学校評価一覧表②（平成28年度版）

（様式2）

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①自分の学校やクラスが好きだと感じる生徒が85%以上である。 ②自分が所属する系列の学習活動に満足している生徒が90%以上である。 ③地域との交流活動やボランティア活動に参加した生徒が70%以上である。	A	A	A	①「本校が好き」な生徒は85%で、前年同期比+4%である。授業やHR活動、学校行事等の活性化を図り、更に学校の魅力を高めたい。 ②入学して満足している1年生は90%であり、系列の授業に満足している2・3年生は93%であった。系列の指導をさらに充実させ、生徒の主体的な学習活動を推進したい。 ③地域交流やボランティア活動に参加した生徒は51%であった。地域貢献や環境教育の一環として、系列による計画的な取組を推進したい。	・大切な高校生活を楽しく有意義に過ごしていると思う生徒が多いことに感動した。今後の人間性の成長の糧になることを期待します。 ・「本校が好き」「授業に満足」の数値目標の達成度が素晴らしい。具体的には、各種新聞報道がそれらを裏付けている。 ・「本校が好き」ということは、生活全般の充実や進路実現等、色々な事の基本であると思う。今後も学校の特色を生かし充実した生活ができるようにしてほしい。 ・地元町内美化活動にも毎回多数の生徒・教職員に参加・協力をいただき心より感謝している。 ・地域交流やボランティア活動に参加することは、社会と係わる第一歩となるので更なる取組を期待します。	・学校行事の充実と授業時間の確保をバランス良く行い、生徒の人間性と学力の更なる向上を目指す。 ・各系列の特色ある学習活動を更に発展させるとともに、生徒の希望に応じて選択科目の受入人数を柔軟に調整する。 ・地域交流やボランティア活動の対象となる行事等を明確にするとともに、生徒会や各系列による積極的な参加を推進する。
	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	①授業が分かりやすいと感じている生徒が90%以上である。	B	B	B	①「授業は分かりやすい」と感じる生徒が85%であった。少人数授業や協働的な学習の推進、授業アンケートの活用、授業研究の充実等を図り、授業の更なる改善に努めたい。	・学校教育では「授業が分かりやすい」が何より重要。生徒の協働的な学び、体験的・参加型の授業への改善が期待される。 ・生徒が先生に質問ができる環境ができていると思う。	・少人数授業や協働的な学習の推進等を更に推し進めるとともに、授業アンケートによって把握した実態に応じて、適切に授業改善を行っていく。
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	②学期ごとに学力を向上させている生徒が90%以上である。 ③定期試験前や試験期間中に家庭学習を2時間以上行っている生徒が70%以上である。	B	B	B	②基礎力テストで前回より学習到達度が上昇した生徒は65%である。更に指導の改善を図りたい。 ③2学期期末試験中に家庭学習を2時間以上行っている生徒が58%で、前年同期比+4%であった。今後も学習指導を充実させ、より一層の改善を図りたい。	・厳しいが、意欲的に取り組む生徒の事例の把握と活用を中心に、何とか全体の意欲向上を図ってほしい。 ・入試の倍率が高くなり、基礎学力を高めて試験に挑んだ生徒が入学してくるので、全体的に学習に対する意欲が向上しているのと思う。	・朝学習により基礎学力の向上を図る。また、少人数授業により生徒の実態に応じた学習指導を推進する。 ・読書の推進により課程での学習習慣を定着させるとともに、定期試験前の補習や学習会を充実させる。また、生徒の進路目標をできるだけ早く具体化させ、学習意欲の向上を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	①誰にでもしっかりと挨拶ができる生徒が65%以上である。 ②生徒に関する情報交換を学期に3回以上実施する。	B	B	B	①しっかりと挨拶ができる生徒が55%で、前年同期比+2%であった。年度後半に低下する傾向があるので、年度後半の指導を充実させたい。 ②毎回の職員会議の他、朝会での情報共有を適切に行っている。	・街中できちんとあいさつと会話ができる生徒にも接し、感心したこともある。 ・挨拶は校内だけでなく、誰にでもしっかりとできることが大切だと思う。家庭でも挨拶を交わす気持ちの良さが味わえるような環境づくりをするなど声かけをすると生徒の思いも変わっていくのではないかとと思う。 ・学校内での挨拶の推奨は先生方からの普段からの声かけが最も効果があると思う。	・身だしなみを整え、時間を守り、挨拶を行う指導を常日頃から徹底し、基本的な生活習慣を生徒全員に身に付けさせる。 ・生徒情報を担任、学年主任が随時把握し、適切に職員全員が共有するようにする。
	5 生徒は健康で規則正しい学校生活を送っていますか。	③生徒の欠席率が1.5%以下である。 ④中途退学者及び転学生徒が5名以下である。 ⑤部活動や研究部の入部率が70%以上である。 ⑥「学校がきれいである」と感じている生徒が80%以上である。	A	A	A	③1月までの欠席率は1.0%、前年同期比-0.2%であった。今後も的確な指導を行い、更なる改善を図りたい。 ④現在の中途退学者は1名である。 ⑤部活動や研究部に所属する生徒は69%であり、前年同期比-2%であった。 ⑥「学校がきれいである」と感じている生徒が65%である。清掃体制の更なる見直しと改善に努めたい。	・基本的な部分がしっかりできることが、ほぼ達成されている様子で何よりである。 ・退学者が少ないことは、学校生活の充実や生徒一人一人が自分なりの目的をしっかりと持っているからだと思う。教職員による生徒一人一人の内面理解や適切な指導の成果だと思う。 ・中途退学や欠席が減少しているのは、学校内の雰囲気は良くなっているからだと思う。	・生徒、保護者、職員の努力により、欠席率が改善されてきた。引き続きしっかり指導に取り組んでいきたい。 ・今後も中途退学を防止するため、生徒に気を配り、早めの対応を心がける。 ・女子の部活動参加を促進するとともに、研究部活動の充実を推進する。 ・清掃が必要な場所を確認し、実態に応じて清掃方法や分担箇所の見直しを行う。
	6 生徒主体のいじめ防止活動に積極的に取り組んでいますか。	⑦全教職員が、いじめの未然防止に努めるとともに、発生時の解消率が100%である。	A	A	A	⑦いじめの未然防止及び早期発見、早期対応、早期解消に努めている。今後も生徒の様子を注視し、積極的に対応していきたい。	・先生と生徒のコミュニケーションが良くできているからだと思う。	・今後も生徒の様子に気を配り、いじめの未然防止と早期発見に努める。また、発生した場合に早期対応し、早期解消ができる態勢を整えておく。
	7 計画的な指導を行っていますか。	①インターンシップに参加した生徒が100%である。 ②生徒が取得した資格数が、一人当たり1.5以上である。	C	C	C	①次年度長期インターンシップの対象を2年生、参加目標を124名とし、各系列で指導に当たっている。 ②取得した資格数を着実に積み重ね、一人当たり1.7を達成した。	・素晴らしい。具体的な目標として効果的である。 ・インターンシップの経験は進路を早く決定する要素の一つになっていると思う。今後もインターンシップの充実をお願いしたい。 ・生徒の主体的な進路選択において、インターンシップはとても有効な取組である。参加生徒が増えるよう、計画的に行ってほしい。 ・インターンシップ先の確保が大変だが、参加率向上を目指して頑張りたい。	・全員参加を目指し、生徒に対する丁寧な指導を計画的に行うとともに、地域企業による理解と協力を促進する。 ・今後も資格取得指導を継続し、生徒の様々な能力の向上を図っていく。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	③将来の職業について考え、進路実現に主体的に取り組んでいる生徒が85%以上である。 ④目標としていた進路を実現できた生徒が95%である。	A	A	A	③進路実現に主体的に取り組んでいる生徒が89%であった。地域の企業との連携したガイダンス等の進路指導行事を充実させ、生徒の主体性向上を図りたい。 ④3学年で進路に「満足」「やや満足」とした生徒は96%、保護者は97%で、いずれも昨年比+4%であった。今後も指導の充実を努めたい。	・高校として何より大切な部分である。素晴らしい成果を上げていることに敬意を払いたい。 ・進学や就職の分野が広いので、先生方の適切な指導に重要性を感じる。	・進路指導行事の充実と、「総合的な学習の時間」を利用した計画的なキャリア教育を更に推進し、生徒の職業理解と就業意識の向上を図る。 ・本年度の好結果を振り返り、その要因と更なる改善について検討し、進路指導全般の着実な向上を図る。
	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	①学校のWebページを月1回以上更新している。 ②学校の教育活動を理解し、満足している保護者が95%以上である。 ③地域行事への参加や地域と連携した取組が10件以上である。	A	A	A	①Webページの内容を見直すとともに、月1回以上の更新を行った。今後も積極的な更新に努めたい。 ②学校の様子がわかると答えた保護者は80%であった。今後も情報発信の充実を努めたい。 ③1月までの地域行事への参加や地域と連携した取組は14件である。今後も地域行事への参加を推進していきたい。	・Webページは学校の顔になる。是非今後とも力を入れて素敵なHPであってほしい。学校関係者以外の人も見ている。 ・いずれも学校の積極的な姿勢と努力が窺える。あせらず着実な向上と充実をめざしてほしいと思う。特に地域との連携14件は素晴らしい。 ・ホームページをはじめ新聞などでも学校の情報発信が積極的に行われ、充実している。 ・興陽フェスタや地域の行事では、生徒の表情も明るく、態度も立派でした。	・Webページの定期的な更新と充実を図るため、広報体制の見直しとシステムの刷新を図る。 ・学校だよりや学年通信、Webページ、メール配信等を活用し、情報発信を充実させる。 ・興陽フェスタの開催や地域行事への協力を引き続き推進する。
	10 地域教育機関との連携	④保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校との連携授業や出前授業等の取組が10件以上である。	B	A	A	④1月までの保育園・幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校との連携授業や出前授業等は12件である。今後も積極的に連携を図りたい。	・幼稚園との交流活動では、経験を積み重ねる毎に園児、生徒の成長の姿が確認できたように思う。今後も豊かな体験とおして充実した交流ができることを期待する。 ・この取組は生徒にとってとても良い体験になると思う。	・各系列による交流活動を今後も維持していくとともに、参加した生徒が幅広い交流の中で自己を成長させるようきめ細かい指導を行い、交流活動の質的向上を図る。